

稲山会

通信

第23号

2011年7月1日発行

発行人：斉藤雄二 発行所：稲門山の会事務局 TEL03-3367-3723 FAX03-3367-8150 ©稲門山の会1998

WMS創立55周年記念行事

2011年秋のキャンプと登山のご案内

幹事 齋藤 (S.45年卒)・松村 (S.48年卒)

今年は早大山の会創立55周年。チョット足を延ばし我ら心の故郷ハケ岳麓を企画しました。千露里庵(チロリアン)に集まり、満天の星空の下、BBQ、キャンプファイヤー、思い出話に秋の夜長を楽しみましょう。翌日のハイキング+赤岳登山も計画しました。是非ご参加下さい。

○日程：2011年10月1日(土)～2日(日)+3日(月)(オプション)

○集合：小海線甲斐大泉駅

1日の11:34(あずさ9号+小海線利用)及び15:22(あずさ17号+小海線利用)

○交通：自動車：中央自動車道 長坂ICより20分(甲斐大泉駅前P有)

電車：中央本線 小淵沢駅経由 小海線 甲斐大泉駅

○会場：千露里庵 甲斐大泉駅から徒歩15分(林間でわかりづらいので駅からご案内します)

○会費：男性 5,000円 女性 3,000円(1日夕食、2日朝食、飲料、施設利用料)

○用具：洗面用具・懐中電灯各自持参。寝具数に限りあり、寝袋と歌集の持参を勧奨

○申込・問合先：齋藤延雄 T:045-831-1792 E:yuiyui@zg7.S.o-net.ne.jp ケ:080-4005-3934

新井昭夫 T:048-461-0783 E:araia@nifty.com ケ:080-1161-5306

松村幹雄 T:03-3325-9695 E:mykof04@S.5.dion.ne.jp ケ:080-5175-9695

早稲田大学山の会創立55周年記念登山

10月2日(日) 飯盛山(1643m)コース：7時30分チロリアン発 …L新井(S.46卒)

甲斐大泉駅(8:04)⇒清里駅(8:15)⇒平沢橋(8:30)⇒平沢分校(9:00)⇒飯盛山(10:00)
⇒平沢山(10:30)⇒シシ岩(11:20)⇒野辺山駅(12:20)解散

10月3日(月) 赤岳(2899m)コース：前日中に赤岳鉦泉へ移動。…L齋藤(S.45卒)

赤岳鉦泉発6時⇒行者小屋(6:45)⇒阿弥陀のCOL(7:45)⇒阿弥陀岳ピストン(8:45)⇒
赤岳(9:45)⇒赤岳石室⇒行者小屋(10:45)⇒赤岳鉦泉(11:45)⇒美濃戸口(13:35)解散

*前日の美濃戸口までの移動はマイカー(乗合)を予定しています。

(付記) 買出隊：11:34迄に甲斐大泉駅前集合 調理隊：13:30迄に甲斐大泉駅前集合

早稲田大学山の会創立55周年記念新年会

2011年2月5日（土）大隈会館において、52名のOBの皆様の参加を得て、恒例の新年会が盛大に開催されました。今年は山の会創立55周年の記念の年に当たる新年会でもありました。昨年に引き続き、今年も遠方から多くのOBの方々が駆けつけてくれました。新潟県から滝沢OB、諏訪から金子（弘）OB、那須から鈴木（精）OB、札幌から狩野OB、愛知県から山本（達）OB、皆様のご参加、誠に有難うございました。

OBの方々の近況報告では、皆様熱が入り、例年歌う山の歌の歌唱時間がなくなる程でした。

金子治雄（S.41年卒）記



▲2011年新年会 52名が参加しました

近況報告：2011年新年会の返信はがきより

☆多くの方の協力により名簿が改訂され嬉しく頂きました。尚亡くなられた方にはその年月が付記されていると、私の年代では一層思い出を惹き付ける縁になったのですが。昨年は病のため年に一度の山行は途切れてしまったのですが、回復したので今年は復活するつもりです。しかし仰ぎ見る登山から遠望となり、回想の世界に入っていくのでしょうか。（高橋啓二・S.33）

☆後期高齢者になり、車の免許は返上して遠出は出来るだけせず、毎週18ホールを歩く。千葉の海岸からスカイツリーの伸びる姿を見る。（小松雅美・S.34）

☆2010年版会員名簿を受取りました。作成ご苦労様でした。この一年体調悪く、年総会・新年会は欠席致します。皆様によろしく。（納見明德・S.34）

☆①名簿ありがとうございます。いつ修正されるのかと思っていましたが、大変でしたね。また大版なのは年寄には見やすいです。②故人の住所は不用なのではないですか？（会長の先生・・・）（荒川秀夫・S.36）

☆未だに老骨に鞭打って職場勤務を続けております。最近山からすっかり遠ざかり、老妻のパートナーとして社交ダンスに汗を流しております。競技会に出場し始めてから練習時間を大幅に増やし、週5日間フロアにステップを踏んでいる昨今です。（石川俊弥・S.37）

☆昨秋で満72歳。“老いの衰え”を感じながらも“歳相応の山”を選んでの登山やスキー（あやしげな？テレマーク）を続けています。近年は単独行への拘りもほどほどにして、WMSの仲間と誘いあつての「遠い昔を語りながらの山旅」も多くなりました。北海道・東北の山々の“のどかさ”、“おおらかさ”

に惚れこんでいます。(恩田和夫・S.37)

☆山の会新人合宿で登った飯豊山、山岳仏教の大日岳、薬師岳等々。当時は何で仏教(?)と思っていたが、今は仏教にはまり込んで「仏教三昧」で過ごしています。(梅田浩美・S.37)

☆相変わらずボランティアとしてマジックをやっています。当日近くの町の長寿会での出演を依頼されております。不運。(鈴木健夫・S.37)

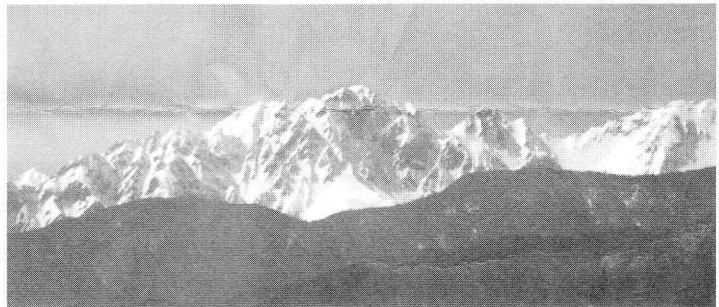
☆立派な会員名簿をお送りくださりましてありがとうございます。おかげさまで元気にはしておりますが、山の方はすっかりごぶさたしています。皆さまのご健康をお祈りいたします。(古林美穂子・S.38)

☆元気に生活しております。いつかは(新年会)に参加したいと思っております。皆様にとって今年がよい年となりますよう祈り上げます。(弘海都子(矢矧)・S.38)

☆卒業以来、山とは無縁となりましたが、リタイア後は足腰が弱まらないように、時々近くの高尾山に登っています。(宇留賀国次・S.40)

☆当家からは主人のみ出席いたします。(松村葉子(北条)・S.40)

☆昨年12月から週2回出社となり、サンデー毎日生活修業中です。浅く広げすぎた趣味を整理統合、仕分け中です。(小島俊一・S.41)



▲S.41年卒の訪ねた塩尻峠より穂高・潤沢

☆体調不良につき残念ながら欠席します。生まれ故郷に戻っています。井村先輩に連絡をいただき、なつかしく思いました。(桃沢克彦・S.42)

☆昨年11月大阪秀稜会50周年の企画に誘われ、アンナプルナ、ダウラギリを望むトレッキングに行ってきた。乾期でもあり好天に恵まれ素晴らしい展望でした。また桜が咲き、セミが鳴く中で稲穂が揺れているというネパールならではの雰囲気を感じました。(佐久間正昭・S.43)

☆この3月でサラリーマン終了。自宅で不動産鑑定事務所を始める予定です。(丹治和男・S.43)

☆八ヶ岳南麓の標高1100mの地に移住して、もうすぐ6年になります。観光バス会社に転職し、運転手と運行管理者をしています。日本全国どこへでも行きますので、ご用命ください。休日は薪割りです。こちらでゴルフ仲間もできました。70台の夢をもう一度追いかけてみようと思っています。(森逸岳・S.47)

☆名簿ありがとうございました。仕事に追われ、ハイキングでストレス解消をするのがやっとです。(西山一夫・S.48)

☆あまり考えず心の赴くままストレスを溜めないように生きています。“人の世は、しがらみが多く、常はなく、はかなきこと、富士の初雪”古に想いを寄せ、下手な歌を詠むのが楽しみとなってしまいました。(亀田吉史・S.52)

☆社会保険病院等の仕事をしています。(山路淳・S.55)

☆去年は妻を連れて、久しぶりに北八に行きました。「山ガール」が本当に多いですね!(里方昭彦・S.58)

☆名簿制作ありがとうございます。お手伝いいただいた皆様、お疲れ様でございました。(勝山宏則・H.2)

☆平成17年大学院卒業後、中部地方で働いていましたが、今年から本社に転勤になり、東京で働いています。(山本達也・H.17)

☆創立55周年の記念の年に参加できず申し訳ありません。また次の機会に是非、宜しく願い致します。(中村達・H.18)

役員会記

東日本大震災で被災された皆様方に心からお見舞い申し上げます。

役員会

山の会関係者の皆様には上田代表からお見舞状が送られています。

前略 先般、3月11日の東日本大震災で、甚大なる被害を受けられたことを、心からお見舞い申し上げます。復興には多大なるご苦勞もあるかと存じますが、御地が一刻も早く復興されることをお祈り申し上げます。皆様方におかれましては、これから色々のご苦勞がおりかと察しますが、ご自身、ご家族、そして周辺の方々の復興が、迅速に進まれることを願っております。稲門山の会には全国に約250名の会員がおりますので、皆様方をあらゆる方面から、援助、お手伝い出来るかと思ひます。人手がいるとか、物品が不足しているとか、どんな事でも、ご遠慮なくお申し出下さいます様お願い致します。

まずは書中にて心よりお見舞い申し上げます。

早々

茨城県の山口進さん（S.34年卒）から下記礼状が届きました。

幸い当方は大きな被害もなくほぼ普段通りの生活が出来ますのでご安心ください。なお被害の本場の皆さんへの援助のほどをお願い致します。一応状況をご報告させていただきますと、*茨城は鹿島灘沖と筑波山直下にナマズがいるらしく震度3～4は頻発します。住民は慣れたものでこの程度では何も起こりません。私も震度3は無視、震度4だと一応周囲を見回します。今度の大物は震度6の強か弱と思いますが、家の中の不安定なものは全て吹っ飛んで壊れました。ガラスの破壊は相当でした。食器、人形ケース、写真枠など。我が家は高台で地盤改良してあり、建築年もまあ新しいので建物被害は皆無で東北とは比べ物にならぬ軽傷でした。（中略）*被災地の会員諸氏に見舞金など集める時には声を掛けて下さい。労働力的な援助は出来ませんがATMから送金などはできますのでよろしくお願い致します。見舞いに感謝。やまぐち

仙台市の柊沢克彦さん（S.42年卒）から下記礼状が着きました。

拝復 ご懇篤なお見舞いの書簡を3月24日に落手しました。まことに有難うございました。

私どもの現況については、被災後間もなくお見舞いをいただいた井村英明先輩に概略お伝えしたところですが、私の住んでいるところは、仙台市でも損害が比較的軽微な市内中心部でしたので、幸いにも損傷は軽くて済みしました。（中略）今回の教訓として感じたのは、各種の「備え」で、これは山登りと同じでした。つまり、（1）水（2）照明（3）燃料（4）食料の備蓄が必要でした。この中で一番大事なのは（1）の水で、水さえあれば3、4日は何とか過ごせると思いました。（2）の照明についてはロウソクでは心もとなく、大きな乾電池で点灯する比較的大きな蛍光灯のようなものが好ましいと思いました。（3）燃料は、暖房用に（電気不要の）石油生焚で使えるストーブと、調理用の卓上ガスコンロが必要でした。（中略）以上があらましの近況です。元氣です。お見舞いに重ねて感謝申し上げます。敬具

投稿：日米姉妹都市・文化交流の仲介役として

打矢之威（S.37年卒）

東日本大震災で福島県南相馬市は大きな被害を受けました。打矢之威OB（S.37卒）は以前より南相馬市とアメリカ・オレゴン州ペンドルトン市との文化交流に関わっており、今回の大震災では両市の仲介役として活躍されました。当件は「やま」とは直接関係ありませんが、両市の文化交流と、大震災に当たってペンドルトン市が南相馬市に対して行った援助活動につき、ご報告いただきました。（編集者）

私はご縁あって15年前から福島県南相馬市（旧原町市）とペンドルトン市の姉妹都市関係のお世話をしています。南相馬市は例年無形文化財の“相馬の野馬追い”祭りを盛大に開催します。一方ペンドルトン市は毎年9月に“ペンドルトン・ラウンド・アップ” フェステバルを開催します。南相馬市のそれは鎧武者五百騎参加の壮大なるページェントであり、相馬藩1000年の伝統行事です。ペンドルトンのお祭りは“REAL WEST, LET'S HER BUCK！”といったアメリカ西部のカーボーイ参加のロデオ（スタンピード）大会で、100年の伝統行事です。ラスベガス、カルガリーと共にアメリカ3大祭りと言われています。

私はトーマンを退職以来オレゴン州ポートランド市に零細貿易会社を設立し、トーマン時代の経験を生かして雑貨、木材金物など何でもやろうと対日対米商売を推進しました。その一つにオレゴン州東部よりのクォーターホース（カーボーイが牧畜作業で乗る訓練された馬）や卒塔婆用木材（米樅）などを当時の原町市の取引先に輸出していました。そのような関係で両市が伝統行事を題目に、“馬の息つく町作り”を志向しているのを知り、両市の関係者に姉妹都市関係締結する意向があるか打診した結果、合意に達した次第です。爾来私は南相馬市の親善大使として両市の関係深化にご協力し、両市市長や夫々の代表団訪問にも家内と共に随行し、日米文化、教育交流のお手伝いをしています。

特に思い出に残るのは、南相馬市からは鎧兜に身を固めた騎馬武者が、供そろえ総勢20人規模でラウンド・アップのウエストホー・パレードに参加し市中を練り歩いたこと、ナイトショーでもアメリカ・インディアンや西部開拓民と共に出演し、観客の歓声を受けたこと、翌日のTV、新聞にも大々的に紹介され、南相馬市が広くアメリカ国民に知られたことです。ペンドルトンからも毎年カーボーイ、カーガールが相馬野馬追い祭りに参加し、投げ縄、バーレルレース、その他西部の馬術を披露し、英国馬術とは異なった野性的なアメリカ西部文化を紹介しています。

さて去る3月11日の東日本大震災、地震、津波災害と福島原発の被災、それによる放射能汚染問題は、アメリカでも連日報道され同情されています。日本人の抑制の効いた被災者態度は何回も賞賛されており、家内も私も事ある機会にそのような賛辞を受け、誇らしく思っています。



▲ペンドルトン・乗馬パレード・クイーン

3月22日まず1回目として南相馬市を見舞い、桜井市長にかき集めた日常品を届けました。現地が如何になっているか分からないので、車には登山用野営用具一式を積み、焼酎を1ダース、燃料タンク等予備品も準備して、6号線沿いに原町方面に向かいました。途中、通行止めに会い、山中の399道を恐る恐る進みました。車に1台も出会わないので不審に思っていたら、境界でパトロールカーにストップされ、急遽アメリカからの救援物資を届けるのだと言い訳し、OKとなりました。



▲桜井市長に援助品引き渡し

2回目は4月4日から6日までオレゴン州政府から依頼され、米人報道記者2名を被災地に案内しました。一人はMR RICHARD REIDといってピッツァー賞を受賞した名物記者で、その取材態度に感銘を受けました。常に軍用DOSIMETER（放射能線量計）を使い要所、要所（被災地境界線、飯館村等）で真剣に計測していました。

彼等の報道が連日アメリカのメディアに載り、その中で南相馬市とペンドルトン市の関係も記述されていますし、又ペンドルトン市がまず有名なペンドルトン・ウールンミルの純毛毛布300枚（コスト300万円）を送ったことなども紹介されています。

4月10日から22日まで私は訪米し、ペンドルトン市に南相馬市の惨状をつぶさに説明、改めてペンドルトン側の協力を要請しました。その際放射能線量計（10台＝80万円分）と放射能汚染対策用丸薬多数を託されましたので、4月26日に南相馬市桜井市長を訪ね進呈しました。

5月13日から15日まで再度訪米し、NHK北米総局の取材（ペンドルトン市の南相馬市への援助活動）のお手伝いを致しました。この取材内容は、5月21日の夜、NHK総合で、また5月24日の朝、NHK衛星第1で放映されました。

尚南相馬市長、桜井勝延氏はタイム誌の世界の100人に選ばれたり、ホーク市長もハーレーダビッドソンに乗って市議会出席するやら、ウエストホー・パレードで乗馬姿を披露するなど西部の名物男ですので、これからは地方の個性的政治家が活躍するのではないのでしょうか。



▲ホーク市長と一緒に

投稿：2011.4/29～ 大峯奥駈道登山報告

笠原 豊 (S.40年卒)

大峰山脈の「南奥駈道」を越え釈迦ヶ岳を登頂したので報告します。

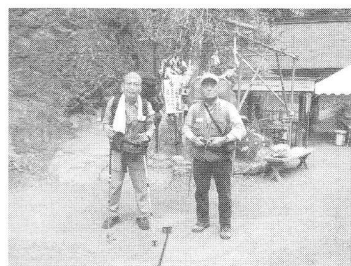
メンバー：打矢之威 (S.37年卒)、笠原 豊 (S.40年卒)

期間：2011年4月29日(金)～5月4日(水)

行程：熊野本宮大社－玉置山－笠捨山－涅槃岳－地藏岳－天狗山－釈迦ヶ岳－十津川へ下山

概要：当初、最高峰八経ヶ岳が目標だったが、どうせやるなら「奥駈順峰(じゅんぷ)をフルに熊野から吉野まで縦走したい」となった。しかし日程が7日しかとれず、アプローチを除く6日で全コースタイム3000分を割振ったが初日615分が長いので荷上を行った。逆峰でさえ標準7泊8日を、まだ一部雪の時期に高齢者が6日で通過は無理な計画で、負荷1日目(5/1)で既にコースタイムの1.9倍を要した。

GW前夜発のバスは途中渋滞で天理延着。五条でタクシーを拾い168号線を南下。十津川沿いを走り玉置神社の駐車場にタクシーを待たせて荷上した。4/30(土)熊野本宮大社前を6時出発した。登山初日は登降を繰返し、地図上で累積登り1,710m、下り820mあった。途中、玉置神社に預けたザックを回収し水を補充するとズシリと来た。展望台先の路肩にツエルトを張ると日暮れ雨。5/1(日)雨模様。地藏岳では吊り上げ用の鎖で打矢にザックを吊り上げてもらった。行仙宿着19時半。5/2(月)晴。



▲玉置神社にて打矢OB・笠原OB

疲れ抜けず平治の宿で昼寝し持経の宿のお堂に泊った。5/3(火)涅槃岳、般若岳と寂静の境地を歩いた。太古の辻で前鬼からの道が合わさり、それまで踏跡の南奥駈道が終了し北奥駈道へ移った。千丈平水場への分岐を見出せぬまま釈迦ヶ岳の肩で幕営。冷雨。5/4(水)釈迦ヶ岳(1800m気温2℃)に登頂。八経ヶ岳に雪が見えた。しかし、日程に余裕がなく残念ながら引き返すことにした。運よく便乗できその日のうちに帰宅することができた。

2011年 山とスキーの会 「乗鞍高原スキー」の報告

平均年齢70歳超の元気な壮年スキーヤーで、楽しいスキーを乗鞍高原で行ってきました。

雪はたっぷり、宿のすぐ前がリフト券売り場、全体に広くなだらかで、混雑なくスキーを楽しめます。

硫黄の熱い温泉に浸かり、夕食後のゲームを楽しみながらの晩も楽しいものでした。

19日(土)・20日(日)は移動性高気圧にすっぽり包まれて絶好のスキー日和でした。1950mのスキー場最高地点から、中央アルプス・南アルプスがはっきり見えました。

日程：2月18日(金) 東京駅丸の内北口 19:00発、現地「みたけ荘」着23:30

20日(日) 現地発12:30、東京着17:00

参加者：市村OB夫妻、大國OB夫妻をはじめ総勢19名

新井昭夫 (S.46年卒) 記

2010年度会計報告 (2010年1月1日～12月31日)

稲門山の会

単位：円

項 目	収 入	支 出	残 高	備 考 欄
前期からの繰越額(預金・現金計)			4,884,096	
年会費(4,000円)納入額(新年会52+振込62=114)	456,000			
新年会費(6,000×52名分)	312,000			
金融機関等の預金受取利息	558		2,377,855	
新年会費用の支払(大隈会館・ホテル)		332,505		
インターネット基本料+ホームページ		50,400		稲山会HP
東京都山岳連盟年会費		20,100		
役員会会合席料		17,400		
稲山通信印刷費(1月第20号・7月21号の2回分)		108,360		印刷会社へ支払分
事務局経費(切手、封筒、葉書等)		200,840		新年会・各行事等の案内
金融機関等の預金受取利息	460			
生花代		15,750		
宅急便等		2,118		
収支合計	769,018	737,493	4,915,621	
項目別預金残高内訳書				
一般会計 郵便公社預金			2,580,370	通帳残高額を確認済
年会費入金振替郵便口座			32,300	通帳残高額を確認済
みずほ銀行口座			289,245	通帳残高額を確認済
特別会計 遭難対策費(郵便定期預金①)			1,000,000	通帳残高額を確認済
遭難対策費(みずほ銀行定期預金②)			1,013,706	通帳残高額を確認済
合 計			4,915,621	

上記の会計報告を致します。会計幹事：新井昭夫(尚、別途会計監事が銀行残高書と照合済み)

稲門山の会 ホームページ(HP)のご案内

役員会

本年前半の記事・投稿をご案内しておきます。

トップページにある「青海チベット鉄道とヒマラヤ横断」は保屋野厚OB(S.40年卒)の投稿です。また同じくトップページにある「ロッキー山麓スキー行き」は鈴木明人OB(S.40年卒)の投稿です。会イベント案内11には、金子治雄OB(S.41年卒)の「創立55周年記念新年会」が載っております。山行レポート11、春・夏には、新井昭夫OB(S.45年卒)の「2011年度・山とスキーの会報告」、笠原豊OB(S.40年卒)の「5月GW・大峰奥駈道登山」、井村英明OB(S.40年卒)の「5月上旬・安達太良山」が載っております。会員へのお知らせには、栗又功男OB(S.38年)の示現会出品絵画があり、また吉田稔(S.38年卒)OBの創造展出品陶器も載っています。

<http://wmsob.jp/>で検索して、ご参照あるいはご鑑賞下さい。

編 集 後 記

3月11日の東日本大震災で亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。更なるOBの皆様の義捐金と、これら義捐金が速やかに被災者の方々に届くことを願っています。今回は「やま」とは関係ないのですが、千年に一度ともいわれる東日本大震災のインパクトが大きく、大震災に関する「投稿」をいただき、また記事を書きました。尚スペースの関係で、新年会・春スキーの参加者等を記載しませんでした。稲門山の会ホームページ(HP)に詳細が載っておりますので、ご参照下さい。

齊藤雄二(S.41年卒)記